

千葉県立鶴舞看護専門学校 学校関係者評価実施報告

千葉県立鶴舞看護専門学校では、「令和3年度自己点検・自己評価結果概要」をもとに、学校関係者評価を実施したので、以下のとおり報告します。

1 実施年月日

令和4年9月30日(金) 14時～15時30分

2 学校関係者評価会議出席者

近隣教育機関、近隣保健医療施設、実習施設、有識者(非常勤講師)、看護職能団体、卒業生に出席を依頼しました。

3 実施内容

事業概要、自己点検評価の結果説明、今年度の取り組みを報告し、質疑応答や意見交換を行いました。

《今年度の取り組み》

- ① 新カリキュラムを予定通りに実施し評価する。
- ② 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- ③ 教員が授業準備のための時間をとれる体制を検討する。
- ④ ICT教育の推進とそれに伴う教材・施設設備の整備を行う。
- ⑤ 地域社会における学校の在り方や活動を検討し、地域貢献できる。
- ⑥ 卒業生の活動状況を把握し、看護基礎教育に反映できる方法を検討する。

4 学校関係者評価・意見

主なご意見は以下のとおりです。

大項目	主なご意見等
I 教育理念・教育目的	<ul style="list-style-type: none">・ 専門職業人として追及していくべきテーマが盛り込まれており適切だと思う。・ 進学したいと思う魅力ある人材育成を期待する。
II 教育目標	<ul style="list-style-type: none">・ 地域や外部関連機関との連携も位置付けし、実施されると良い。・ 多様な価値観を受け止めるための学生の自己洞察力の向上なども盛り込まれていると良い。・ 昨今の学生は自己肯定感に乏しいので、「セルフエスティーム」を高めるといふ点も必要になってくる。
III 教育課程	<ul style="list-style-type: none">・ 目指す方向性が明確になっている。具体的な取り組み例が表示されているととても分かりやすい。・ 講師にとっても分かりやすいカリキュラムだと思う。・ 教員の負担増大が懸念される。実習病院としても実習指導の調整等協力してきたい。・ 複数校の実習を受け入れているが、学校の実習を受け入れるごとに目的・目標を再確認していきたい。

IV 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が自ら考えて学習していける取り組みが良い。様々な取り組みと課題が理解できた。 ・ 当事者と共に学ぶ機会があると良い。
V 経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 等の整備が充実すると学生確保にも有利になると思う。 ・ 経営意欲を高めるため、必要機材に関する予算案の話し合いをされると良い。
VI 入学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校案内を工夫し、他の学校との違い、魅力を盛り込むと良い。性別や年齢を問わず学べる環境であるという特徴をアピールしてほしい。 ・ 既にいろいろな仕掛けを検討していると思う。
VII 卒業・就業・進学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里帰り day のフィードバックは良い取り組みだと思う。学校側・卒業生・各施設にとって有意義である。
VIII 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で活動しにくい、近隣施設や自治体と連携していけると良い。 ・ 学生のボランティアを受け入れる機会を作り協力していきたい。 ・ 教育目標への位置づけを含めて、現状下でもできる工夫を楽しみにしている。 ・ 地域貢献とは何をすることなのか、明確にもらえるとう協力できる。
IX 研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での経験を活かし、学校での取り組みを発表してほしい。 ・ 研究に取り組む人材育成のために必要だと思う。 ・ 学校が考える研究とは何か。研究の成果と学生への還元を期待する。 ・ コロナやIT化など環境の変化に追われ大変だが、何とか時間を確保してほしい。
自由なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に明確な理念・目的・目標を持って育成していると感じた。 ・ 学生への温かい思いがカリキュラムに反映されている。 ・ 自己点検・自己評価結果が実態を反映しており、課題が明確になっている。 ・ 限られた人的・物的環境の中、より良い教育環境を求め奮闘していると感じた。 ・ 鶴舞看護は学生の多様性を活かした教育支援にチャレンジしているところが素晴らしいと思った。

5 終わりに

今後も、学校関係者評価会議を継続して開催し、学校外部からの評価をいただく機会を設けながら、学校活動全般に関する質の向上を図ってまいります。